

事業報告

講座名	山口ひとものがたりセミナー第3回（「白」「黒」「赤」でたどる Mine 秋吉台ジオパーク） （講師：小原 北士 氏）
日時・場所	令和6年11月17日（日）10:30～12:00 101研修室
参加者数	65名

1 概要

講師：小原 北士 氏（Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会 事務局専門員）

演題：『「白」「黒」「赤」でたどる Mine 秋吉台ジオパーク』

小原氏は、大学、大学院と地質学を専攻され、美祢市をはじめとする中国地方各地の石や地層が、いつ、どこで、どのようにできたのかを研究されていた。現在は美祢市役所に勤務し、Mine 秋吉台ジオパークの地質専門員として、学校での出前授業や博物館、資料館での展示、見どころを解説する看板などで、大地と人々とのつながりのおもしろさを伝えている。それらの仕事の一環で、昨年放送されたテレビ番組「ブラタモリ」の「秋吉台」の回で、タモリさんらを案内された。

今回のセミナーでは、秋吉台の石灰岩がどのように出現したかという話から、地層の話、化石の話、秋吉台活用の話、さらにはブラタモリ撮影の裏話まで、非常にわかりやすく解説された。

例えば、秋吉台の石灰岩がどのように出現したかについては、大昔、遠く離れた南の海にあったサンゴ礁が、約8千万年かけてプレートに乗って運ばれてきたものということだった。その他多岐にわたるお話を多くの写真や資料とともにしていただき、秋吉台のロマンを感じるとても楽しい時間となった。

<写真>

